



2006年3月号  
No. 348

SAIJO LIONS CLUB

# Topics

CSF モデルクラブ 目標達成間近!



講師 西川ヘレン

## 大家族

支え愛・語り愛・励まし愛

結成四十五周年記念チャリティー事業  
【ふれあい講演会】

### 2005~2006 年度

国際会長プログラム 「飛躍への情熱 (PASSION to EXCEL)」  
336A 地区ガバナーズ知-ガン 「ライオンよ 誇りを持って ウィ・サーブ」  
クラブ会長スローガン 「手をあわす 感謝の心で ウィ・サーブ」

# 今日のありがとうを、明日のありがとうへ

45周年実行委員長 花山志郎



1925年にヘレン ケラー女史がライオンズに向けて「盲人のために暗闇と戦う騎士になって下さい」と演説して以来、国際ライオンズクラブのアクティビティの中心にあります。

1991年からの3年間のアクティビティ資金が底をついてきて再度資金協力をお願いするのが今回の「CSF」であります。我が西条ライオンズクラブが結成45周年記念事業として取り組んでいる次第です。



十亀会長・加藤茂大会委員長を基に「CSF モデルクラブ」として申請し行動計画を実施中であります。クラブメンバーひとり当たり500ドル(48名)24,000ドルの献金が目標です。献金にともなって「世界の子供達の失明予防のために」を合い言葉に市民の方に啓蒙活動をしています。

又現在MJF献金1,000ドル5名等の力強い協力が得られなんとか今期中に達成できる様頑張っています。

昨年の11月12日・13日の西条産業祭・11月19日西条少年野球大会のカレー昼食作りそしてメンバーの事業所に募金箱を設置しての募金・啓蒙活動の協力等メンバー全員が動く絶妙のチームワーク、“さずが西条ライオンズクラブ”又「メガネリサイクル事業」としてメンバーはもとより西条市内の各小学校に回収箱を設置し出来るだけ多く回収する予定です。







クラブメンバーは、街頭に立ち、市民に呼びかける・・・

その声を耳にして、また人々のやさしい心が募金箱に

つもっていく・・・



メンバー達にも、そしてそのまわりの人たちにもあたたかな気持ちが広がってゆく



今後の予定ですが4月29日の産業フェスティバルにおいて、チャリティーバザール・メガネリサイクル・募金活動、そして5月14日の「大家族 - 支え愛・語り愛・励まし愛」をテーマに西川ヘレンさんのふれあい講演記念チャリティー講演・当日の45周年式典においてもモデルクラブとしての贈呈式を盛大に行う予定であります。

当日は姉妹提携クラブ「アラモアナライオンズクラブ」から8名のメンバーが式典に駆けつけて下さる様です。まさしく「手をあわず感謝の心でウィサーブ」ですね。

## 45周年記念に向かって頑張りました！！

### 『伊予土居ライオンズクラブ結成30周年記念式典に参加して』

幹事 安藤憲正

伊予土居ライオンズクラブは、清掃奉仕を年10回以上も実施しているクラブです。式典で特に感じたのは、色々な方々の挨拶が内容もしっかりしているのに手短かで間延びしない事でした。祝宴は質素で、手作りそのもので、メンバーによる『安来節どじょうすくい』の振り付けには見ごたえがありプロ顔負け、またピンクレディの踊りは場を和ますものでした。





## 「こんなツボ 食べてきました」

(南宇和ライオンズクラブ結成 40 周年記念大会に参加して)

L. 村上公明

皆さん、こんなツボ見たことありますか。実は 2006 年 3 月 19 日、愛媛県最南端の地、愛南町(旧城辺町)で食べてきました。

当日は南宇和ライオンズクラブの結成 40 周年記念大会が開かれ、昨年私と同じ時期に会長をされた平田前会長から「うまいものを食べさせるから」と、ご招待を頂きました。加藤茂 45 周年大会委員長以下 6 名が期待に胸を躍らせて行って参りました。



さて、この写真のグロテスクなツボは「亀の手」(学名フジツボの甲殻類)と呼び、当地では「セイ」と呼ばれています。湾の沖合の小島の岩肌に牡蠣と同じように張り付いています。それを小型のボールでおがし(引き剥がし)茹でて爪でなく亀の肌のような下の部分を破るとピンク色の鮮やかな色をした身が出てきて、それを一口ですすり取ります。塩っぽくて、コリコリして、いくらでも食べられ、正に酒の肴に最適です。

皆様も是非珍味探しに出かけられては如何ですか。

さて、40 周年記念事業として心を引かれた内容に

1. 中央アフリカのルワンダで、エイズ・マラリアに苦しむ人々を医療支援している愛南町出身の和喜田弥生さんを向こう 10 年間支援していく KOMERA の会
1. 南宇和精神障害者の社会参加を進める会(ハート・イン・ハート)

平成元年にライオンズクラブ等が発起人になって設立、会員 850 名で、障害者自らの就労の場の創出を目指し、18 年に亘り支援活動を行っています。

いずれも息の長い継続を目指し、地域住民を巻き込んだボランティア活動に驚くと共に非常に感銘を受けたことを報告致します。

### 【編集後記】

奈良のお水取りさらに、彼岸が過ぎると、めっきり春らしくなります。

4 5 周年式典もまじかにせまってきました。広報委員も記念誌の編集にとりかかっています。

あらためて、4 5 周年の歴史の重みを感じます。原稿の御協力よろしく願いいたします。

瀬川

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A 地区 2R 4Z

西条ライオンズクラブ

事務局 〒793 - 0027

西条市朔日市 779 - 8

西条商工会館 3F

TEL (0897) 56 - 3980

FAX (0897) 56 - 9251

E-mail [saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp](mailto:saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp)

http: //www6.ocn.ne.jp/~saijo-lc/

発行者 会長 十亀興美

幹事 安藤憲正

PR・広報委員長 瀬川大秀

編集委員 日吉洋二・内田 伸

越智英明・杉原善行・寺尾信司

例会日 第 1・第 3 火曜日

例会場 黒猫レストラン

印刷 西条ライオンズクラブ事務局